

①石浦神社

石浦神社は古墳（五四七）時代に草創され、金沢最古の宮として、明治の神仏分離令により石浦郷の地名をとり石浦神社と改称。

【休館日等】

なし

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://www.ishiura.jp/yuicho/index.h>



②石川県観光物産館

日本三名園のひとつ「兼六園」のそばにある「石川県観光物産館」。石川・金沢の有名・老舗の銘菓・佃煮・伝統工芸品など名産・特産品を一同に集めた商業施設で、各種伝統工芸作り体験等もできる。

【休館日等】

火曜日(冬季)

<https://kanazawa-kankou.jp/closed-in-the-year-jp/>

【料金】

無料 ※伝統工芸作り体験は公式 HP をご参照ください。

【公式 HP】

<https://kanazawa-kankou.jp/>



③石川県立図書館

石川県立図書館は、2022年7月16日、金沢市小立野二丁目の金沢大学工学部跡地に新しく開館し、延床面積約19,000m²、開架冊数約30万冊、閲覧席数約500席、書庫の収蔵能力は約200万冊。図書館の愛称は「百万石ビブリオバウム」。

【休館日等】

月曜日

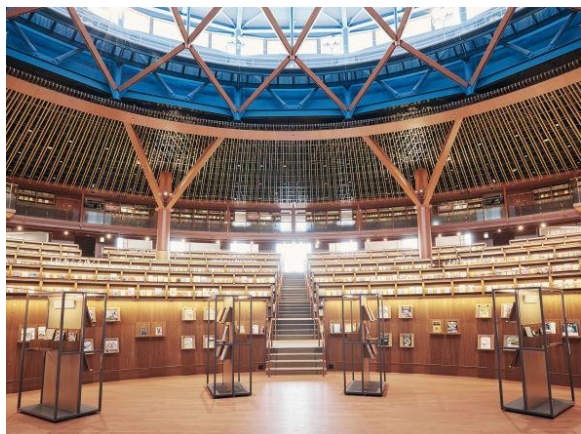
<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/wo/lib/ca>

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/>



④石川県立美術館

古九谷の名品や加賀藩前田家伝来の宝物から、石川県の作家を中心とした日本画、洋画、彫刻、工芸などを幅広く展示している美術館。石川県が誇る名品が数多く展示されており、特に野々村仁清作の国宝「色絵雉香炉（いろえきじこうろ）」は必見。

【休館日等】

年末年始 ※展示替えのため臨時休館あり

【料金】

一般 360 円 / 大学生 290 円 / 高校生以下無料 ※企画展示は別途料金

【公式 HP】

<https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>



⑤石川県立歴史博物館

兼六園の周辺に位置し、石川の古代から近代までの歴史と文化を紹介する博物館。建物は、かつて旧陸軍兵器庫や金沢美術工芸大学に使用されていた本多の森公園の赤煉瓦棟を復元再生したもので、平成2年に重要文化財に指定。

【休館日等】

年末年始 ※展示替えのため臨時休館あり

【料金】

一般 500 円 / 大学生 400 円 / 高校生以下無料 ※特別展は別途料金

【公式 HP】

<https://ishikawa-rekihaku.jp/>



⑥卯辰山公園

金沢市街を一望する卯辰山一帯に広がる公園。8000本のツツジ等が階段式に植栽された「花木園」や、20万株の花菖蒲が咲く「花菖蒲園」、250本の桜が植えられている「四百年の森」など季節によって美しい花々を楽しむ。さらに、望湖台から晴れた日には日本海を眺めることができ、見晴らし台では金沢の街中を見渡せる。

【休館日等】

無し

【料金】

無料

【公式 HP】

https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/spot/detail_50020.html



⑦近江町市場

金沢の中心、武蔵ヶ辻にある近江町市場は、藩政時代から約 300 年、時代の変遷とともに金沢市民の台所として金沢の発展とともに栄えてきた市場で、今も「おみちよ」の愛称で市民から親しまれている。

【休館日等】

日曜日が 6 割程、祝日は 5 割程の営業

水曜日は 2 割程がお休み

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://ohmicho-ichiba.com/>



⑧大野からくり記念館

金沢市大野町に住み活躍した幕末の科学技術者・からくり師「大野弁吉」の業績を紹介するとともに、「からくり」の世界を様々に展示。実際に触って「からくり」を体感でき、北前船をイメージした内井昭蔵氏設計の建物も必見。

【休館日等】

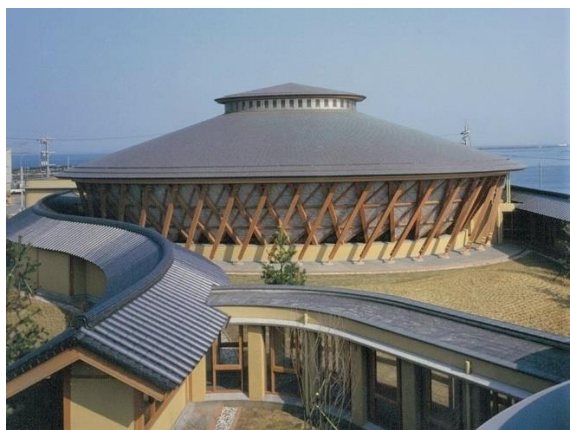
水曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

【料金】

一般 300 円 / 小中高校生 200 円

【公式 HP】

<http://ohno-karakuri.jp/>



⑨大樋美術館

大樋焼とは 350 年の歴史をもつロクロを一切使わず、手で捻り、飴釉が特徴。大樋焼美術館は大樋長左衛門窯の敷地内に位置し、初代長左衛門から現代にいたるまでの大樋焼作品並びに、加賀藩に縁の深い茶道具類を展示。ミシュランガイドで「一つ星」の認定を受けている。

【休館日等】

年末年始

【料金】

一般 700 円 / 小中学生 500 円

【公式 HP】

<http://www.ohimuseum.com/museum/index.html>



⑩尾山神社

尾山神社の主祭神は加賀藩の藩祖前田利家と妻の芳春院(まつ)。神門は重要文化財に指定されている。屋根には避雷針が設置されており、日本最古の避雷針とされている。最上階には色ガラス（ギヤマン）がはめられ灯台の役割を果たしていたと伝えられている。

【休館日等】

無し

【料金】

無料

【公式 HP】

<http://www.oyama-jinja.or.jp/>



⑪金沢海みらい図書館

図書館周辺が藩政期には北前船の寄港地であり、また、醤油など多様なものづくりが盛んな土地柄であることから、それらに関する蔵書が充実している。外壁に約六千個の丸窓を配置するなど斬新な建物デザインが国内外で話題となっている。

【休館日等】

水曜日(祝日・振替休日と重なった場合は開館)

特別整理期間(6月第1月曜日-翌々日、11月の最終月曜日-翌週の金曜日)

年末年始

【料金】

無料

【公式 HP】

https://www.lib.kanazawa.ishikawa.jp/?page_id=118



⑫金沢港いきいき魚市

金沢港いきいき魚市は、北陸・金沢を代表するズワイガニや甘えびなどの新鮮な海の幸を、石川の地で魚を獲る漁師さんたちがお店を開き販売しており、一般の消費者の皆さんに直接販売している。

【休館日等】

水曜日 年始

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://ikiiki.or.jp/>



⑬金沢港クルーズターミナル

クルーズの金沢港のあたらしい海の玄関口となる「金沢港クルーズターミナル」。クルーズ船の2隻同時接岸時にも対応でき、待合エリアが確保され、高い利便性を誇る。全面ガラス張りの海側からは日本海を一望でき、夜には美しいライトアップも。

【休館日等】

年中無休

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-cruise.jp/>



⑭金沢城公園

天正 11(1583)年、前田利家が金沢城に入り、その直後から本格的な城づくりが始められましたが、宝暦 9(1759)年の火災で城のほとんどを焼失。その後の再建では、二の丸を中心とした整備が行われ、天明 8(1788)年には現存する石川門が再建。平成 13 年に復元された菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓は、安政頃の景観を再現。

【休館日等】

年中無休

【料金】

無料

菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門

大人（18 歳以上）320 円 / 小人（6 歳～18 歳未満）100 円

【公式 HP】

<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kanazawajou/>



⑮金澤神社

金沢神社は明治5年村社に列し、兼六園が一般に開放された明治7年に金沢神社と改称し、郷社に昇格、以来学業上達、家業繁栄を祈願する参拝が多い。

【休館日等】

無し

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://kanazawa-jj.or.jp/about/entry-56.html>



⑯金沢 21 世紀美術館

金沢 21 世紀美術館は、「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」を目的に開設。21 世紀という大きな歴史の転換点にあたり、新たなまちづくりへの対応が求められ、ミュージアムとまちとの共生により、新しい金沢の魅力と活力を創出している。

【休館日等】

月曜日（休日の場合は直後の平日） 年末年始

【料金】

美術館建物への入館（交流ゾーン）無料

展覧会ゾーンへの入場（展覧会観覧券）有料

https://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=7

【公式 HP】

<https://www.kanazawa21.jp/>



⑩兼六園

水戸偕楽園、岡山後楽園とならぶ日本三名園の一つ。兼六園は江戸時代の代表的な大名庭園として、加賀歴代藩主により、長い歳月をかけて形づくられてきた。四季折々の美しさを楽しめる庭園として、多くの県民や世界各国の観光客に親しまれている。

【休館日等】

年中無休

【料金】

大人 320 円 / 小人 100 円 ※小人は 6 歳～17 歳

【公式 HP】

<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/>



⑩香林寺

「願掛け寺」として有名で、毎年多くの拝観者が県内外から願掛けに訪れる。「願掛け十二支の庭」の中にある「幸福の道」を三周し、自身や家族の干支像の前で願掛け。願掛け以外にも「出世達磨」への願玉入れ等がある。

【休館日等】

定休日無し

【料金】

大人 500 円 / 小人 400 円 ※小人は中学生以下

【公式 HP】

<http://www.kourinji.jp/>



⑱国立工芸館

日本海側初の国立美術館として、国立工芸館が2020年10月25日に金沢市に開館。明治期に建てられた2つの旧陸軍の施設、旧陸軍第九師団司令部庁舎（1898年建築）と旧陸軍金沢偕行社（1909年建築）を移築するとともに、過去に撤去された部分や外観の色などを復元している。

【休館日等】

月曜日（休日の場合は直後の平日） 年末年始

展示替期間

【料金】

一般 300 円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.momat.go.jp/cg/>



⑳四十萬屋本舗

創業明治8年（1875年）。「かぶら寿し」「大根寿し」等をはじめとする各種発酵食品をお届けする。店頭には各種発酵に関連した製品が並ぶほか、特製の糀を使った甘酒やジェラートを楽しめる発酵カフェがる。また、「かぶら寿し」や「糀漬け」の漬け込み体験も開催しており、観光のお客様、地元のお客様どちらにも好評。また当家に伝わる日本刀について解説するコースもある。

【休館日等】

第一日曜日

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://www.kabura.jp/>



②鈴木大拙館

D.T. Suzuki として世界で知られる鈴木大拙は金沢が生んだ仏教哲学者鈴木大拙の記念館。設計は国際的な建築家・谷口吉生氏。静寂な雰囲気をつみだす大きなクスノキの古木や、朝夕、四季によって彩られる散策路もみどころ。

【休館日等】

月曜日（休日の場合は直後の平日） 年末年始

展示替期間

【料金】

一般 310 円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-museum.jp/daisetz/>



②成巽閣

成巽閣は 13 代藩主前田斉泰が母君・真龍院のために建てた隠居所。大名書院造りと数奇屋風書院造りの二つの様式を持つ建造物は風格ある佇まいが印象的で、国の重要文化財となっている。

【休館日等】

水曜日（祝日の場合開館し、翌日休み）

年末年始

【料金】

<企画展>大人・大学生 700 円、中高生 300 円、小学生 250 円

<特別展>大人・大学生 1,000 円、中高生 400 円、小学生 300 円

【公式 HP】

<http://www.seisonkaku.com/>



㊸谷口吉郎・吉生記念金沢建築館

東宮御所（現赤坂御所）や東京国立博物館東洋館などの設計を手がけた日本を代表する建築家である谷口吉郎氏の住居跡に建てられた。吉郎氏の長男であり、ニューヨーク近代美術館や GINZA SIXなどを設計した世界的に活躍する建築家の谷口吉生氏が設計した。

【休館日等】

月曜日（休日の場合は直後の平日） 年未年始
展示替期間

【料金】

一般 310 円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-museum.jp/architecture/>



㊸千里浜なぎさドライブウェイ

石川県羽咋郡宝達志水町今浜から同県羽咋市千里浜町に至る砂浜の延長約 8 キロメートルの観光道路であり、千里浜と今浜の一部と出浜の各海水浴場も兼ねている。日本で唯一、一般の自動車やバスでも海岸線の砂浜の波打ち際を走ることができる道路。

【休館日等】

波の状況による

【料金】

無料

【公式 HP】

<https://www.city.hakui.lg.jp/soshiki/sangyoukensetsubu/syoukoukankouka/12/1/2505.html>



㊤寺島蔵人邸

家屋の北側と東側には池泉回遊式（ちせんかいゆうしき）の庭園が広がり、春はドウダンツツジの開花、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の姿をあらわす。茶室にて抹茶（350 円）を提供する。寺島家の家紋をかたどった特製の落雁でお茶を楽しめる。

【休館日等】

火曜日

【料金】

一般 310 円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-museum.jp/terashima/>



㊤天徳院

曹洞宗の寺院。元和 9 年（1623 年）加賀藩主前田利常が前年に 24 歳で亡くなった正室 珠姫の菩提を弔うために創建した。現在、境内ではからくり人形「珠姫・天徳院物語」（約 15 分）、からくり人形 DVD（約 15 分）が上演されている。

【休館日等】

水曜日

12月29日～1月3日

【料金】

一般 500 円 / 中学生 300 円 / 小学生 200 円

【公式 HP】

<https://tentokuin.arunke.biz/>



㊦長町武家屋敷跡 野村家

加賀藩士・中級武士たちの屋敷跡が残り、石畳や土塀など往時の面影が今も色濃く残る。唯一、一般公開されているのが武家屋敷跡 野村家。格式のある建物と風情のある庭園が見事に調和している。米国庭園専門誌の2003年度日本庭園ランキングでも3位に選ばれている。

【休館日等】

12月26日・27日、1月1日・2日

【料金】

一般 550円 / 高校生 400円 / 小中学生 250円

【公式HP】

<http://www.nomurake.com/>



㊦にし茶屋街

金沢三茶屋街のひとつ。出格子が美しい2階建ての茶屋建築に老舗割烹が軒を並べ、趣のある一角を作り上げている。作家・島田清次郎が過ごしたお茶屋の跡地に建つ金沢市西茶屋資料館は見どころのひとつ。夕暮れ時になると、着飾った芸妓が街を歩き、家並みからは三味線の音色が流れる。

【休館日等】

無し

【料金】

【公式HP】

https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/spot/detail_10199.html



㊸能楽美術館

加賀宝生に伝わる貴重な能面や能装束を収蔵展示。初心者でも「能楽」の世界をわかりやすく理解できる様々な工夫を凝らした展示がある。また、能面・能装束を実際に身につける体験コーナーがあり、本物の能面を手に取り実際につけられる大変貴重な体験ができる。

【休館日等】

月曜日 年末年始

【料金】

一般 310 円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp/>



㊸箔一本店 箔巧館

金箔をまるごと知ることができる日本最大級の体感型総合ミュージアム。最新のデジタルアートを駆使した様々なスポットが目白押し。お子様から大人まで金箔に触れて、遊んで、楽しんで、学ぶ事ができる。

【休館日等】

1月1日

【料金】

入館無料 ※金箔体験は公式 HP をご参照ください。

【公式 HP】

<https://kanazawa.hakuichi.co.jp/hakukoukan/>



③ひがし茶屋街

石畳の道に風情のある町家が立ち並ぶ。加賀藩が奨励した金沢の伝統や、芸術の文化を色濃く反映した街並みの中で観光を楽しむ。フォトジェニックなスポットとしても人気があり、着物のレンタルをはじめ、格式ある割烹や、お洒落な町家カフェ、伝統工芸品を扱う土産店などが立ち並ぶ。情緒溢れる古い町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

【休館日等】

無し

【料金】

無料

【公式 HP】

https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/spot/detail_10212.html



④妙立寺(忍者寺)

「忍者寺」と呼ばれ、落とし穴になる賽銭箱、床板をまくと出現する隠し階段、金沢城への抜け道が整備されていたとされる井戸などの仕掛けが寺のあちこちで見られる。創建当時、徳川幕府と緊張状態にあったため、襲撃に備えて出城・砦の役目を果たしていた。迷路のような内部をガイドが案内してくれる（事前予約要）。

【休館日等】

1月1日及び法要日

【料金】

一般 1,000 円 / 小学生 700 円

※拝観予約要

【公式 HP】

<http://www.myouryuji.or.jp/>



③安江金箔工芸館

全国で唯一の金箔博物館。館内には金箔に関する美術工芸作品が多数所蔵され、金箔の製造道具なども展示し、技術や性質を紹介している。金沢で金箔の生産が盛んになった歴史や、金箔を使った絢爛豪華な美術工芸品を鑑賞できる。

【休館日等】

火曜日

12月29日～1月3日

【料金】

一般 310円 / 65歳以上 210円 / 高校生以下無料

【公式 HP】

<https://www.kanazawa-museum.jp/kinpaku/>



④ヤマト糀パーク

ヤマト醤油味噌の本社製造工場「糀パーク」は、発酵食文化と糀のチカラを学び体験できる。本社直売所「ひしほ蔵」、季節の発酵食ランチを楽しめる「発酵食美人食堂」、無料の糀パークツアーや味噌作り(時期限定)、塩糀作り体験(要予約)などワークショップを体験できる「糀蔵」が軒を連ねる。人気のしょうゆソフトクリームも味わうことができる。

【休館日等】

水曜日 年末年始

【料金】

入館無料

有料体験有

【公式 HP】

<https://www.yamato-soysauce-miso.co.jp/koujipark.html>

